

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	予算の執行率	%	支出済額／当初予算額	目標	100	100	100
				実績	93	96	
成果指標	予算の執行率	%	支出済額／当初予算額	目標	100	100	100
				実績	93	96	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

☒ A:高い(義務) ☐ B:普通 ☐ C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

☒ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

☒ A:目標よりも大きな成果が得られた ☐ B:概ね目標の成果が得られた

☐ C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☒ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

☐ コストを下げる工夫が考えられる

☐ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要

☐ C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	配分予算額における正確な執行
次年度における対応方策(改善方策)	予算執行進捗による予算縮減の検討
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	予算執行進捗による予算縮減の検討

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者 渡辺 泰二 担当課名 道路整備課

事業の方向性 ☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了

事業費の方向性 ☐ 増額 ☐ 現状維持 ☒ 減額

次年度の取組方針(改善方針) 予算縮減に努める

二次評価【部長評価】

部長名 山本 恵美 担当部名 土木部

確認 ☒ 確認

一次評価を遵守すること。

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	予算の執行率	%	支出済額／予算額	目標	100	100	100
				実績	95	93	
成果指標	予算の執行率	%	支出済額／予算額	目標	100	100	100
				実績	95	93	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
 【必要性 Total判定】□
☐ A:高い(義務) ☒ B:普通 ☐ C:低い
 <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>
 事業実施に係る必要経費

目標達成状況の点検

☒ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
 【目標達成状況 Total判定】
☐ A:目標よりも大きな成果が得られた ☒ B:概ね目標の成果が得られた
☐ C:目標とする成果が得られなかった
 <Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐ コストを下げる工夫が考えられる
☒ 成果を高める工夫が考えられる
 【実施内容等 Total判定】□
☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要
☐ C:見直す余地がない
 <Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	配分予算額における正確な執行
次年度における対応方策(改善方策)	予算執行進捗による予算縮減の検討
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	予算執行進捗による予算縮減の検討

■今後の方向性

一次評価【課長評価】
 評価者 渡辺 泰二 担当課名 道路整備課
 事業の方向性 ☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了
 事業費の方向性 ☐ 増額 ☐ 現状維持 ☒ 減額
 次年度の取組方針(改善方針) 予算の縮減に努める

二次評価【部長評価】
 部長名 山本 恵美 担当部名 土木部
 確認 ☒ 確認
 一次評価を遵守すること

※事務事業コード／ 0108020102

平成 25 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	● 無 ○ 有（平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 080201道路橋梁維持費	新規／継続 （事業区分1）		市民協働	総合計画コード	1213
事業名	02道路維持管理事業						
目 的 （成果）	一般車両・歩行者の安全の確保、雨水排水の機能を保持するため補修工事を実施する。						
内 容 （概要）	舗装の維持補修、雨水排水を処理する側溝内の機能維持。狹隘箇所・見通しの悪い箇所・通学路の草刈業務を行う。						

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算			平成24年度 決算			平成25年度 予算					
事業内容	・区長要望箇所補修工事、草刈業務委託 ・立竹木伐採委託、側溝清掃委託		・区長要望箇所補修工事、草刈業務委託 ・立竹木伐採委託、側溝清掃委託 ・橋梁長寿命化計画点検業務委託		・区長要望箇所補修工事、草刈業務委託 ・立竹木伐採委託、側溝清掃委託 ・橋梁長寿命化点検・修繕計画業務委託		【特記事項】				
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	1,178,000					
	県支出金		県支出金		県支出金						
	市債		市債		市債						
	その他		その他		その他						
	一般財源	96,889,821	一般財源	95,020,668	一般財源	102,301,000					
	計	96,889,821	計	95,020,668	計	103,479,000					
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	11	需用費	45,136,762	11	需用費	53,095,796	11	需用費	47,950,000		
	12	役務費	122,250	12	役務費	152,700	12	役務費	97,000		
	13	委託料	44,298,309	13	委託料	34,669,388	13	委託料	38,873,000		
	14	使用料及び賃借料	158,689	14	使用料及び賃借料	158,689	14	使用料及び賃借料	259,000		
	16	原材料費	6,998,311	16	原材料費	6,944,095	15	工事請負費	10,000,000		
	18	備品購入費	175,500				16	原材料費	6,300,000		
		決算額計	96,889,821		決算額計	95,020,668		予算現額計	103,479,000	0	
	(参考)	H23当初予算額	93,513,000		H24当初予算額	95,957,000		伸び率(%) 対・決	8.9	対・予	7.8
人件費	職員人件費	4.3 人工	34,386,386	職員人件費	4.0 人工	32,279,388	職員人件費	2.9 人工		21,349,612	
総事業費	歳出+職員人件費	131,276,207		歳出+職員人件費	127,300,056		歳出+職員人件費			124,828,612	

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	市道パトロール	2回/月	職員が実施したパトロール回数	目標	24	24	24
				実績	24	24	
成果指標	道路・側溝・水路等に関する苦情	件/年	苦情件数	目標	281	294	250
				実績	294	104	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☒	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☒	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☒	A:高い(義務)
☐	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	

目標達成状況の点検

☒	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☐	A:目標よりも大きな成果が得られた
☒	B:概ね目標の成果が得られた
☐	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	

実施内容・方法の点検

☒	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☒	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐	コストを下げる工夫が考えられる
☐	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☒	A:見直す余地があり直ぐに実施
☐	B:見直す余地があるが時間が必要
☐	C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	道路の路面状況、排水施設、その他施設について、常時把握できる体制を整えられるようにする。また、住民から苦情がある前に処理できる体制づくりの構築する。
次年度における対応方策(改善方策)	常時、道路パトロール等の体制が確保できるよう人員配置を見直す。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	道路パトロールや道路補修を含めた民間業者への業務委託

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	区長要望や道路補修に対する工事については、現地を詳細に把握するとともに、工法等を精査検討する。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山本 恵美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
一次評価を遵守すること。		

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	整備延長	%	工事施工延長	目標	2,235	4,640	2,079
				実績	2,389	4,450	
成果指標	年度内計画路線整備率	%	年度内整備延長／年度内計画延長	目標	100	100	100
				実績	107	96	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

☐ A:高い(義務) ☒ B:普通 ☐ C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

道路整備は市民の日常生活において必要不可欠であり、計画的な整備を進めるとともに行政
区長要望についても緊急性を考慮し整備を行う。

目標達成状況の点検

☐ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☒ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

☐ A:目標よりも大きな成果が得られた ☒ B:概ね目標の成果が得られた

☐ C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

☒ コストを下げる工夫が考えられる

☒ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要

☐ C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	厳しい財政状況の中、要望路線及び生活道路の整備について対応できていない状況である。
次年度における対応方策(改善方策)	緊急性の高い路線を整備していくとともに、簡易的な補修で済むものについては維持係で対応していく。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	各種補助事業の活用と併せ市単独事業も進めていく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡 辺 泰 二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☒ 増額 ☐ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	地域間の平準化を図りながら、緊急性のある路線の整備を進める。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山 本 恵 美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
	一次評価を遵守すること	

※事務事業コード／ 0108020303

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	○ 無	● 有（平成 年度～平成 24 年度）
会 計	一般会計	款・項・目 080203特定幹線市道整備事業費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働
事業名	03市道チ6－0006号線整備事業		行政主体	総合計画コード	1212
目 的（成果）	土浦市から石岡市に至る広域幹線道路として、市道㊦6－0006号線の整備及び新治橋の改修が完了し安全で快適な交通を確保する。				
内 容（概要）	市道㊦6－0006号線新治橋迂回路撤去工事及び取り付け道路整備、借地水田の復旧を行う。				

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算			平成24年度 決算			平成25年度 予算						
事業内容	橋梁上部工 道路改良工事		迂回路撤去工事 堤防取付道路 迂回路借地水田の復旧(6,393㎡)					【特記事項】				
財源内訳	国庫支出金	35,750,000	国庫支出金		国庫支出金							
	県支出金		県支出金		県支出金							
	市債	88,000,000	市債		市債							
	その他		その他		その他							
	一般財源	48,187,061	一般財源	75,583,814	一般財源							
	計	171,937,061	計	75,583,814	計		0					
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番		節名称	金額	うち臨時分	
	13	委託料	2,065,015	13	委託料	1,512,000						
	14	使用料及び賃借料	2,378,196	14	使用料及び賃借料	2,378,196						
	15	工事請負費	162,697,450	15	工事請負費	59,692,500						
	22	補償補填及び賠償金	4,796,400	22	補償補填及び賠償金	12,001,118						
		決算額計	171,937,061		決算額計	75,583,814		予算現額計	0	0		
(参考)	H23当初予算額		123,976,000	H24当初予算額		82,990,000	伸び率(%)	対・決	皆減	対・予	皆減	-
人件費	職員人件費	3.4 人 工	6,398,768	職員人件費	1.1 人 工	8,798,306	職員人件費		人 工			0
総事業費	歳出+職員人件費		178,335,829	歳出+職員人件費		84,382,120	歳出+職員人件費					0

【特記事項】

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	整備延長	%	工事施工延長	目標	539.5	780.0	-
				実績	275.7	780.0	-
				目標			
成果指標	整備率	%	整備済延長／計画延長	目標	69.2	100.0	-
				実績	35.4	100.0	-
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☐	A:高い(義務)
☒	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
道路整備は市民の日常生活において必要不可欠であり、計画的な整備を進めるとともに、地元区長要望についても緊急性を考慮し整備を行う	
目標達成状況の点検	
☒	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☒	A:目標よりも大きな成果が得られた
☒	B:概ね目標の成果が得られた
☐	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	

実施内容・方法の点検

☒	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☒	コストを下げる工夫が考えられる
☐	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☒	A:見直す余地があり直ぐに実施
☐	B:見直す余地があるが時間が必要
☐	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
仮設道路盛土材の運搬搬出を見直し、経費節減ができた。	

■課題と対応方策

課題	平成23年度新治橋の改修が完了し、本線の開通することができた。今年度は仮橋の撤去工事と天の川の堤防及び取り付け道路と借地水田の復旧を行う。
次年度における対応方策(改善方策)	これまで整備してきた工事区間の安全管理に努める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	渡辺 泰二
担当課名	道路整備課
事業の方向性	☐ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(☐ 年後を目処) ☒ 終了
事業費の方向性	☐ 増額 ☐ 現状維持 ☐ 減額
次年度の取組方針(改善方針)	
二次評価【部長評価】	
部長名	山本 恵美
担当部名	土木部
確認	☒ 確認
	一次評価を遵守すること

※事務事業コード／ 0108020304

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	○ 無 ● 有（平成 年度～平成 26 年度）				
会 計	一般会計	款・項・目 080203特定幹線市道整備事業費	新規／継続 （事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード	1212
事業名	04五輪堂橋改修事業							
目 的 （成果）	恋瀬川河川改修事業（県施工）に伴い、高倉地区と石岡市半田地区に架かる五輪堂橋の架け替えを行い、大雨時の橋の冠水の防止と通行車の利便性の向上を図る。							
内 容 （概要）	五輪堂橋改修工事について、茨城県との協定書に基づき負担金を年次的に支払う。							

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算			平成24年度 決算			平成25年度 予算			【特記事項】 平成26年度完成予定
事業内容	茨城県と協定書締結負担金の支払い 橋梁下部工		上部工桁制作		上部工架設 右岸左岸取付道路 旧橋梁撤去設計 水道補償				
財源内訳	国庫支出金	58,300,000	国庫支出金	58,300,000	国庫支出金	58,300,000			
	県支出金		県支出金		県支出金				
	市債	45,300,000	市債	45,300,000	市債	45,300,000			
	その他		その他		その他				
	一般財源	2,400,000	一般財源	2,400,000	一般財源	2,400,000			
	計	106,000,000	計	106,000,000	計	106,000,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分		
	19	負担金、補助及び交付金	106,000,000	19	負担金、補助及び交付金	106,000,000			

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	協定書に基づいた負担金の支払い	千円	協定書に基づいた負担金の支払い	目標	106,000	106,000	106,000
				実績	106,000	106,000	
成果指標	負担率	%	負担額／負担金総額	目標	29.7	59.4	89.2
				実績	29.7	59.4	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☒	A:高い(義務)
☐	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	

目標達成状況の点検

☐	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☒	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☐	A:目標よりも大きな成果が得られた
☒	B:概ね目標の成果が得られた
☐	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	

実施内容・方法の点検

☐	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☒	コストを下げる工夫が考えられる
☐	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☐	A:見直す余地があり直ぐに実施
☐	B:見直す余地があるが時間が必要
☒	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	負担金の財源に補助金(社会資本整備交付金)を充てているが、今後も財源の確保が必要である。(平成26年度完成)
次年度における対応方策(改善方策)	補助事業で実施している工事との調整を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	一括交付金への切り替えが行われた場合、柔軟な対応を検討しておく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	補助金の要望額の満額確保に努める。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山本 恵美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
	一次評価を遵守すること	

※事務事業コード／ 0108020401

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	○ 無 ● 有 (平成 25 年度～平成 29 年度)				
会 計	一般会計	款・項・目 080204地域再生基盤整備事業費	新規／継続 (事業区分1)	新規	市民協働	行政主体	総合計画コード	0
事業名	01道整備交付金事業							
目 的 (成果)	土浦市・石岡市に至る広域幹線道路整備として、改良工事と歩道整備を行い、安心安全で快適な交通を確保する							
内 容 (概要)	石岡市方面から市道6-0006号線新治地内を通り、市道0110・0109号線栄倉地内を経て、土浦市で整備するⅠ級42号線から国道354号を経ておおつ野土浦協同病院へ至る広域幹線道路整備							

■事業費 (単位:円)

	平成23年度 決算			平成24年度 決算			平成25年度 予算		
事業内容							路線及び用地測量業務 市道6-0006号線 L=1600m 市道0110号線 L=450m 市道0109号線 L=330m		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金	24,839,000	
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		
	一般財源	0		一般財源	0		一般財源	6,210,000	
	計	0		計	0		計	31,049,000	
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額
							13	委託料	31,049,000
		決算額計	0		決算額計	0		予算現額計	31,049,000
(参考)	H23当初予算額	0		H24当初予算額	0		伸び率(%) 対・決	皆増	対・予
人件費	職員人件費	人工	0	職員人件費	人工	0	職員人件費	2.6	人工
総事業費	歳出+職員人件費	0		歳出+職員人件費	0		歳出+職員人件費		50,301,106

【特記事項】

6月補正
地域の元気臨時交付金
(補助率80%)
地域活性化・雇用創出臨時交付金

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標				目標	-	-	
				実績			
成果指標				目標	-	-	
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☒	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☐	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
☒	A:高い(義務)
☐	B:普通
☐	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	

目標達成状況の点検

☐	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
☐	A:目標よりも大きな成果が得られた
☐	B:概ね目標の成果が得られた
☒	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	

実施内容・方法の点検

☐	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☒	コストを下げる工夫が考えられる
☒	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
☐	A:見直す余地があり直ぐに実施
☒	B:見直す余地があるが時間が必要
☐	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方針

課題	市道6-0006号線においては、過年度用地協力が得られなかった個所があるので、協力が得られないと歩道整備が停滞してしまう。また、5ヶ年での整備期間があることから、用地がまとまらないと事業が先送りになる。
次年度における対応方針(改善方針)	用地取得を先行し、まとまった箇所から工事着手できるようにする。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	市道6-0006号線については、前後は両側歩道整備済であるので、1期工事として片側歩道を整備するが、用地は両側を取得し中長期的には両側整備とする。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☐ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	計画的な事業推進を図る。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山本 恵美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
一次評価を遵守すること		

※事務事業コード／ 0108020403

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	○ 無 ● 有（平成 年度～平成 24 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 080204地域再生基盤整備事業費	新規／継続 （事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	03まちづくり交付金事業（霞ヶ浦中心地区）						
目 的 （成果）	市の中心市街地やJR神立駅と霞ヶ浦中心地区を結ぶ幹線道路の舗装補修及び県道牛渡・馬場山・土浦線のバイパス的機能を果たす市道整備を行い、西成井地区の狭隘解消と通過交通の分離による交通の円滑化、歩行者の安全確保を図る。						
内 容 （概要）	道路新設工事及び道路舗装補修工事						

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算				平成24年度 決算				平成25年度 予算			
事業内容	㊦0109号線舗装補修工事 L=680m			㊦2583号線道路改良工事 L=190m (繰越明許)							
	㊦2583号線道路改良工事 L=190m										
	㊦2583号線道路舗装新設工事 L=205m										
	㊦2644・R354交通量調査業務										
	㊦2583号線設計積算業務										
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金				国庫支出金			
	県支出金			県支出金				県支出金			
	市債			市債				市債			
	その他			その他				その他			
	一般財源 32,536,500			一般財源 25,119,000				一般財源 0			
	計 32,536,500			計 25,119,000				計 0			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	13	委託料	1,974,000	15	工事請負費	25,119,000					
	15	工事請負費	30,562,500								
		決算額計	32,536,500		決算額計	25,119,000		予算現額計	0	0	
(参考)	H23当初予算額		105,000,000	H24当初予算額		42,410,000	伸び率(%) 対・決	皆減	対・予	皆減	-
人件費	職員人件費	0.4 人工	3,118,765	職員人件費	1.0 人工	8,069,847	職員人件費		人工		0
総事業費	歳出+職員人件費		35,655,265	歳出+職員人件費		33,188,847	歳出+職員人件費				0

【特記事項】
交付金事業はH23年度完了している。一財分について繰越明許

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	㊦0109号線舗装補修延長	m	舗装補修工事を施工した延長	目標	500	-	-
				実績	680	-	-
活動指標	㊦2583号線整備延長	m	道路改良工事を施工した延長	目標	190	307	-
				実績	繰越明許	307	-
成果指標	㊦0109号線進捗率	%	補修済延長／補修計画延長	目標	100	-	-
				実績	136	-	-
成果指標	㊦2583号線進捗率	%	整備済延長／整備計画延長	目標	100	100	-
				実績	繰越明許	100	-

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
 【必要性 Total判定】□
☐ A:高い(義務) ☒ B:普通 ☐ C:低い
 <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

☒ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
 【目標達成状況 Total判定】
☐ A:目標よりも大きな成果が得られた ☐ B:概ね目標の成果が得られた
☒ C:目標とする成果が得られなかった
 <Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐ コストを下げる工夫が考えられる
☒ 成果を高める工夫が考えられる
 【実施内容等 Total判定】□
☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要
☐ C:見直す余地がない
 <Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	㊦2583号線において、用地未同意者の地権者がいるため、引き続き用地交渉を進めていく。
次年度における対応方針(改善方針)	緊急性の高い路線を整備していくとともに、簡易的な補修で済むものについては維持・管理係で対応していく。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	各種補助事業の活用を進めていく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☒ 増額 ☐ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	地域間の平準化を図りながら、各種補助事業の活用を進めていく。	

二次評価【部長評価】	
部長名	山本 恵美
確認	☒ 確認
一次評価を遵守すること	

※事務事業コード／ 0108030102

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	● 無 ○ 有（平成 年度～平成 年度）			
会 計	一般会計	款・項・目 080301河川改良費	新規／継続 （事業区分1）		市民協働	総合計画コード	1331
事業名	02河川維持管理事業						
目 的 （成果）	降雨時における河川の排水能力の向上と災害の未然防止						
内 容 （概要）	河川の浚渫及び補修						

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算				平成24年度 決算				平成25年度 予算				【特記事項】
事業内容	・河川の浚渫及び補修 ・各協議会、研修、会議等への参加			・河川の浚渫及び補修 ・各協議会、研修、会議等への参加			・河川の浚渫及び補修 ・各協議会、研修、会議等への参加					
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金					
	県支出金			県支出金			県支出金					
	市債			市債			市債					
	その他			その他			その他					
	一般財源	2,925,450		一般財源	3,172,900		一般財源	3,224,000				
	計	2,925,450		計	3,172,900		計	3,224,000				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分		
	11	需用費	2,730,000	11	需用費	2,992,500	11	需用費	3,000,000			
	12	役務費	20,450	12	役務費	19,400	12	役務費	20,000			
	19	負担金、補助及び交付金	175,000	19	負担金、補助及び交付金	161,000	19	負担金、補助及び交付金	204,000			
		決算額計	2,925,450		決算額計	3,172,900		予算現額計	3,224,000	0		
(参考)	H23当初予算額	3,183,000		H24当初予算額	3,184,000		伸び率(%) 対・決	1.6	対・予	1.3	+	
人件費	職員人件費	0.8 人工	6,397,467	職員人件費	0.6 人工	4,841,908	職員人件費	0.6 人工		4,494,655		
総事業費	歳出+職員人件費	9,322,917		歳出+職員人件費	8,014,808		歳出+職員人件費			7,718,655		

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	補修件数	箇所	区長からの要望件数	目標	2	3	3
				実績	2	3	
成果指標	補修件数	箇所	解消件数	目標	2	2	3
				実績	2	5	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☒ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

☐ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

☒ A:高い(義務) ☐ B:普通 ☐ C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

☒ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☒ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

☐ A:目標よりも大きな成果が得られた ☒ B:概ね目標の成果が得られた

☐ C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☒ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

☐ コストを下げる工夫が考えられる

☐ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要

☐ C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	河川状況について、常時把握できる体制を整えられるようにする。また、住民から苦情がある前に処理できる体制づくりの構築。
次年度における対応方策(改善方策)	常時、河川パトロール等の体制が確保できるよう人員配置を見直す。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	道路パトロールや道路補修を含めた民間業者への業務委託

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	計画的な事業計画を立て適正な維持管理を行う。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山本 恵美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
	一次評価を遵守すること。	

※事務事業コード／ 0111010102

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 道路整備課	事業年度期限	☒ 無 ☐ 有（平成 年度～平成 年度）
会 計	一般会計	款・項・目 110101公共施設災害復旧費	新規／継続 （事業区分1）	市民協働
事業名	02災害復旧事業		総合計画コード	1213
目 的 （成果）	災害発生により被害を受けた、道路・排水路の復旧			
内 容 （概要）	道路・排水路の復旧			

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算				平成24年度 決算				平成25年度 予算			
事業内容	災害発生時の重機刈上げ等			災害発生時の重機刈上げ等			災害発生時の重機刈上げ等			【特記事項】	
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金				
	県支出金			県支出金			県支出金				
	市債			市債			市債				
	その他			その他			その他				
	一般財源	0		一般財源	0		一般財源	2,000			
	計	0		計	0		計	2,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
							11	需用費	1,000		
							14	使用料及び賃借料	1,000		
	決算額計		0	決算額計		0	予算現額計	2,000		0	
(参考)	H23当初予算額		0	H24当初予算額		0	伸び率(%) 対・決	皆増	対・予	皆増	+
人件費	職員人件費	2.0 人	15,993,668	職員人件費	0.7 人	5,648,893	職員人件費	1.1 人		8,240,201	
総事業費	歳出+職員人件費		15,993,668	歳出+職員人件費		5,648,893	歳出+職員人件費			8,242,201	

【特記事項】

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標				目標			
				実績			
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
 【必要性 Total判定】□
☒ A:高い(義務) ☐ B:普通 ☐ C:低い
 <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

☐ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
 【目標達成状況 Total判定】
☒ A:目標よりも大きな成果が得られた ☐ B:概ね目標の成果が得られた
☐ C:目標とする成果が得られなかった
 <Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
☐ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
☐ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
☐ コストを下げる工夫が考えられる
☐ 成果を高める工夫が考えられる
 【実施内容等 Total判定】□
☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☐ B:見直す余地があるが時間が必要
☒ C:見直す余地がない
 <Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	災害発生により被害を受けた、道路・排水路の迅速な復旧。
次年度における対応方策(改善方策)	災害時、道路・排水路のパトロール等の体制が確保できるよう人員配置を見直す。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	災害時の道路・排水路パトロール(補修)を含めた民間建設業者への一部業務委託。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	渡辺 泰二	担当課名 道路整備課
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	災害等による被害箇所の修復は関係機関と連携し速やかに修復すること。	

二次評価【部長評価】		
部長名	山本 恵美	担当部名 土木部
確認	☒ 確認	
	一次評価を遵守すること。	